

BANK! BANK!

#02

造血幹細胞
移植事業
広報誌

BANK! BANK!

いのちのバトン

みんなであつなぐ



みんな
で
つなぐ

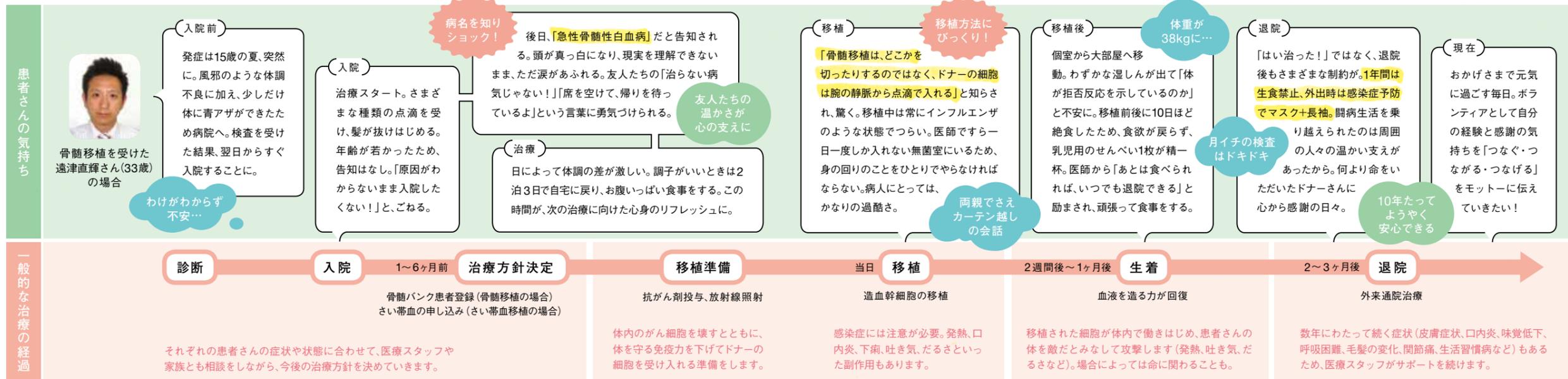
いのちのバトン

1年間で約1万人の人が、
白血病など重い血液の病気と診断されていることを
あなたは知っていますか？

骨髄移植、さい帯血移植って何をするの？

みなさん、「骨髄移植」や「さい帯血移植」という言葉を聞いたことはありますか？
白血病や再生不良性貧血など、重い血液の病気にかかった患者さんが、
ドナー（健康な人）から血液を造る細胞を分けてもらって、その力を回復させる治療法のことです。
もちろんドナーが見つからなければ移植は受けられないし、副作用などさまざまな危険も……。
実際の患者さんの体験談とともに、その流れを見ていきましょう。

移植治療は、どうやって行われるの？



少しでもカになれるかな？

骨髄移植って？

ドナーに全身麻酔をかけ、腰の骨に針を刺して血液を造る細胞を採取、患者へ点滴で注入する治療法。移植をする決めてからドナーを探す時間が必要ですが、移植後の生着は早い。ドナー募集をはじめ、移植にまつわるサポートを「骨髄バンク」が行っています。

さい帯血移植って？

お母さんと赤ちゃんをつなぐ「へその緒(さい帯)」と胎盤から血液を造る細胞を採取し、患者に注射する治療法。保存している細胞を使うため、すぐに移植治療に入ることができますが、骨髄移植に比べて生着は遅い。さい帯血の保存などを「さい帯血バンク」が行っています。

クイズ
BANK!
BANK!

Q Question

日本で最初のバンクが発足してから25年間で、移植を受けた人数が一番近いのはどれ？

A ユニバーサル・スタジオ・ジャパンの1日の来場者数 およそ3.5万人

B ディズニーランドの1日の来場者数 およそ8.6万人

C 羽田空港国内線の1日の乗降者数 およそ17万人

A Answer

これまで骨髄バンク、さい帯血バンクを通じて移植を受けたのは3万2267人(2016年2月現在)。ユニバーサル・スタジオ・ジャパンの「1日の」来場者数とだいたい同じくらい。ちなみに、2014年に日本骨髄バンクに登録した患者さんのうち約45%が骨髄移植を受けられませんでした。そのなかには、さい帯血移植などを受けた方もいますが、ドナーが見つかる前に病状が悪化して亡くなってしまったケースもありました。もしドナー候補がもっと多かったら、助かる命があったかもしれません。

正解：A

いま、あなたにできること

BANK!BANK!のFacebookページに、いいね!

広報誌「BANK! BANK!」は年4回の発行ですが、ウェブでは毎週、骨髄バンク・さい帯血バンクの活動を発信しています。「あるある」豆知識クイズや、さまざまなイベント情報などを見かけて、「へえ〜そうなんだ!」と思ったら、ぜひ「いいね!」「シェア」をお願いします。まずは多くの人に「知ってもらう」こと、そして「広める」だけでも、「いのちのバトン」をつなげる大きな力になります。みなさんのアクセス、お待ちしております!

BANK!BANK! Facebookページ
<https://www.facebook.com/bank.bank.jrc/>

骨髄バンク・さい帯血バンクポータルサイト
<http://www.bmdc.jrc.or.jp/>

1日と25年が一緒だなんて...

「いいね!」を押してみよう!

ありがとう、いのちのバトン

実際に骨髄やさい帯血を提供したドナーさんの体験談や、
移植に関わる人たちのメッセージを集めました。

骨髄ドナーさんのメッセージ

さい帯血ドナーさんのメッセージ

Donor



骨髄を提供した誠さん

患者さんからの手紙に
うれしくて涙しました



ドナー登録をしたきっかけは、白血病を取り上げたテレビ番組で、骨髄移植によって病気が治ると知ったこと。「自分も何か人の役に立てれば」と思って登録し、その後3年間で2回の提供をしました。提供後、ふたりの患者さんそれぞれから、無事に退院して頑張っているという手紙をもらったときは、本当にうれしく涙しました。現行の制度では、もう提供することはできませんが、3回目の提供が可能になったら、必ず協力したいと思っています。



さい帯血を提供した
香織さんと樹ちゃん

赤ちゃんにとって最初の
すてきなボランティア



さい帯血の提供は、「赤ちゃんにとって初めてのボランティア」だと聞いたことがあります。息子へ栄養を送ってくれていたへその緒が、また別の命をつないでいく。すてきなボランティアですね。さい帯血は出産後すぐに採取されるので、出産を終えた安堵感に浸っている間に終わってしまいました。それくらい、体への負担の少ないものです。多くのお母さんや赤ちゃんが、もうひとつの命をつなぐお手伝いをしてくれることを願っています。

Column

移植には、どんな人たちが関わっているの？

ドナーから患者へと贈られる、骨髄・さい帯血=いのちのバトンは、さまざまな人たちの手から手へと、絶え間なくつながれてきました。

ドナーやそのご家族はもちろん、ドナー登録を呼びかけるボランティアやバンク関係者、骨髄・さい帯血を採取する医師や移植する医師、移植のスケジュールを調整するコーディネーター……。こうした仲間のうち、誰かひとりでも欠けてしまったら、骨髄移植・さい帯血移植は成り立ちません。それぞれ違う立場にいても、この仕組みをみんなで支え、いのちのバトンをつないでいこうという想いは同じなのです。



虎の門病院 血液内科 部長 谷口先生

この15年、さい帯血移植には画期的な進歩がありました。それは、ほぼすべての患者さんに対して迅速な移植が可能になったこと。今や、生着不全(移植した細胞が増えないこと)という最大の壁も乗り越え、いかにさい帯血をうまく活かすかという時代になっています。



骨髄バンクコーディネーター
関東地区担当 楠いわみさん

自分のためではなく、見知らぬ誰かのために行動してくれるドナーさん。そんな方たちとの出会いに感謝です。命のプレゼントは、贈る側にもたくさんドラマや感動があります。

造血幹細胞移植事業広報誌 「BANK! BANK!」とは

2つのバンク【骨髄バンク・さい帯血バンク】の理解を深めるための広報誌。全国から集まった制作メンバーが、毎号異なるテーマをわかりやすく解説。骨髄・さい帯血に含まれる造血幹細胞(血液を造る細胞)を、より多くの患者さんに安全に届けることを目指して活動しています。

日本赤十字社

現在、患者さんに適合する「さい帯血」や「骨髄」はインターネットでいつでも探すことができるようになりました。日本赤十字社は「さい帯血」や「骨髄」のドナー情報の管理や血液型(HLA)検査などを行っています。

骨髄バンクへの関わり

全国の献血ルームなどでドナー登録の啓発や受付をしています。

さい帯血バンクへの関わり

日本赤十字社は、全国に6つあるさい帯血バンクの運営をサポートしています。さい帯血の品質を向上させるための研修や、さい帯血バンクを知ってもらうための啓発活動をしています。

骨髄バンク・さい帯血バンクポータルサイト「造血幹細胞移植情報サービス」 <http://www.bmdc.jrc.or.jp/>